

あなたの意識は？

ふれあい人権フェスタ

ふれあい人権フェスタが11月24日、和歌山市内にあるビッグホールでひらかれ、170団体が参加し、7300人が来場した。

県連ブースでは、女性部による、意識調査が実施された。意識調査は、いくつかの質問ごとを年齢でわけ、あてはまる箇所にシールを貼るといふもの。項目には「女のくせに、男のくせに」「DVを受けたことがあるか」「家事育児は女性の仕事？」などで調査した。

また、6年前にもお越しいただいた、猿舞座から筑豊大介さんと猿のいっ平くんをお招き、舞台で猿まわしを披露うした。猿まわしは、部落の伝統芸であるが、現在は「本仕込み」で猿まわしをするのは猿舞座だけ。6年前のフェスタで猿まわしを披露したといっ平くんが急死し、後を受け



女性部からだされたブースのようす

●猿舞座
北九州にある「門司港レトロ」などを拠点に、講演依頼があれば車に猿舞に必要な道具を乗せ、てっ平くんを旅しながら移動する。



筑豊大介さんとてっ平くん

第70回全国人権・同和教育研究大会に参加して

11月17日、18日、滋賀県大津市を中心にひらかれた「第70回全国人権・同和教育研究大会」(以下「全人同教大会」)に参加した。

全人同教は、過去は全同教(全国同和教育研究協議会)の名称で活動していたが、法失効にともない「全国人権教育研究協議会」となり、現在は「全国人権・同和教育研究協議会」と名称変更となった。

1953年に創設されたが、和歌山は創設メンバーであった。そのため、当初は和歌山でも数回大会がひらかれ、同和教育の先進県として活動していた。しかし、その後50数年、和歌山でひらかれていない。その間の事情については、また機会があればこの紙面を借りて説明したいと思っ

一日目は、栗東市の栗東芸術文化会館さきらの第4分科会「人権確立をめざすまちづくり」の第三分散会に参加した。その日は2本の報告があった。その一つ長野県同教上田市教育委員会のKさんから「解放子ども会と私」を紹介した。Kさん自身は部落出身ではなく、高校・大学を卒業し上田市役所に就職するまでは「部落問題」をあまり意識することがなかった。ただ、中学生の時、1960年におこった上田市出身の女性が結婚した家族から差別を受け自殺した差別事件を学習したことは印象に残っていた(上田市は今もこの事件を部落問題の原点としてとりくみをおこなっている)。役所

心をもったのは中学校の人権同和主任をされていた現在のお連れ合いとの出会いからで、お連れ合いの同和教育に懸ける情熱に動かされ、人権同和教育研修会に参加するようになったとのこと。そして、2017年、教育委員会に異動となり、上田市の人権同和教育、子ども会の全般を所管することになった。子ども会に関わるとやはり気になる子ども達に出会う。その子どもたちと関わるなかでその保護者の思いや差別の現実に向き合うことになった経験が報告された。部落出身でない行政マンがどのようにして部落問題にかかわり、向き合っていくのかを興味深く聞くことができた。また、現在の子どもの会の悩みとして、子どもの数が減っていくなかで周辺の子どもの参加が多くなってきたときの対応、解放子ども会の目的の維持をどうするかなど、和歌山の子どもの会と通じるようなこともあった。その後、質問・意見・協議の際にも全国さまざまなおこりの子ども会のようなすがだされ、共通な悩み、少し実情が違うことなどがよく分かった。そのなかで、部落出身教員の若い先生から、出身である部落を校区にもつ学校に勤務する悩みを聞いたとき、昔の自分を思い出した。

二日目は、第一分散会の県庁新館に参加した。ここでも午前中に2本の報告があり、とくに印象に残っているのは奈良県人教の天理市立樺本(いちのもと)小学校のI先生の「地域と学校が創り上げ運営する3つのプロジェクト」という報告であった。「みんなのとしょかん」図書館開放プロジェクトでは地域の「長寿会」の協力で、子ども達にとって居心地のいいところにし、子ども達の縦・横のつながりができた。「町カ塾(まちかじゅく)」放課後学習プロジェクトではコーデイネーター・地域の大学生・学校職員が公民館で放課後学習塾を運営している。この時にポイントを発行する。「夢応援プロジェクト」になりたい職業体

験プロジェクトでは、上記のポイントが言っていた丸と自分のなりたい職業の体験ができるというものがあった。これからの学校や子ども会の活動のヒントがあるように感じた。その会場で新宮の仲間たちと一緒にきていた役員と会った。離れたところで知り合いと出会う、つい懐かしさのあまりその役員と話し込んでしまった。その後の報告をあまり聞けなかったのを役員のせいにしたら、叱られるだろうか。

この大会に参加すると、外から和歌山のことが見えてくる。いろいろな見方を体験するのは大事なことと思っ

(山本敏明)



分科会のようす